

新しい大阪証券界のシンボルタワー

# 大阪証券取引所ビル

旧大阪証券ビル(昭和9年竣工)の、事務所・商業の複合ビルへの建て替え計画です。

特徴的な外観の旧建物は、日建設計の前身「長谷部竹腰事務所」の代表作品でした。

新しい大阪証券取引所ビルは、従来のイメージを継承した低層部とガラスカーテンウォールの高層部とのコントラストを歴史と未来の象徴として表現しています。

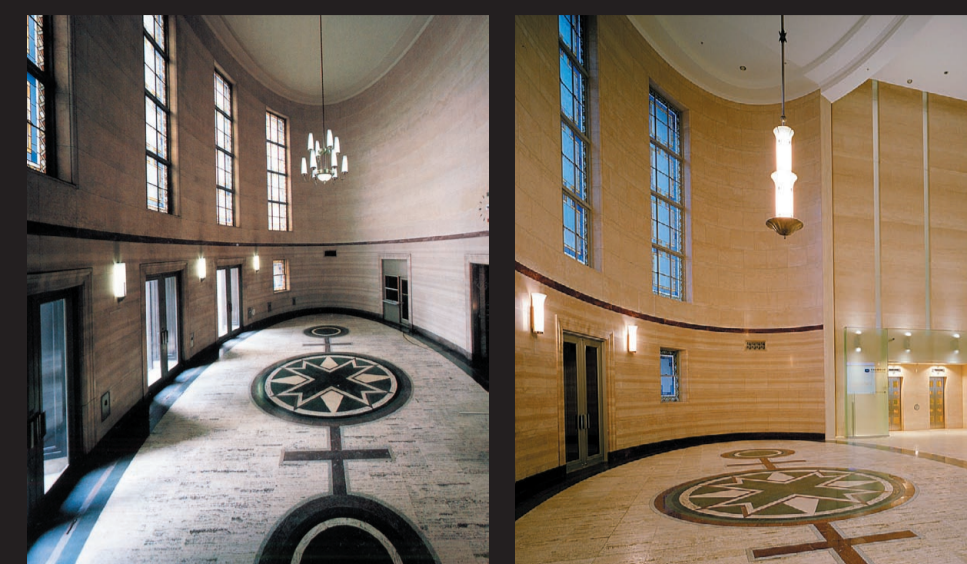
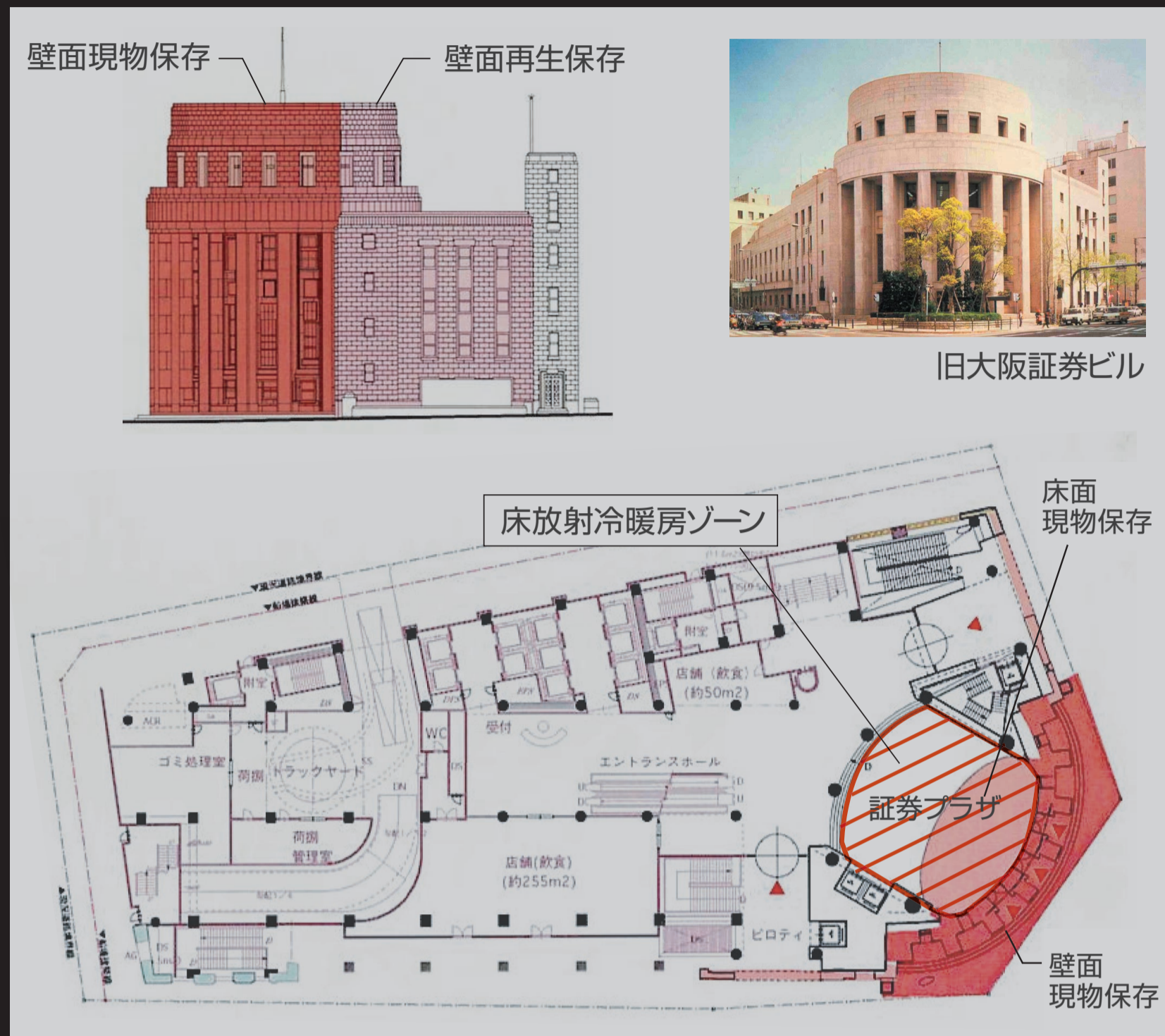
ハイグレードオフィスにふさわしい、信頼性が高く、快適で省エネルギーなシステムを採用しています。



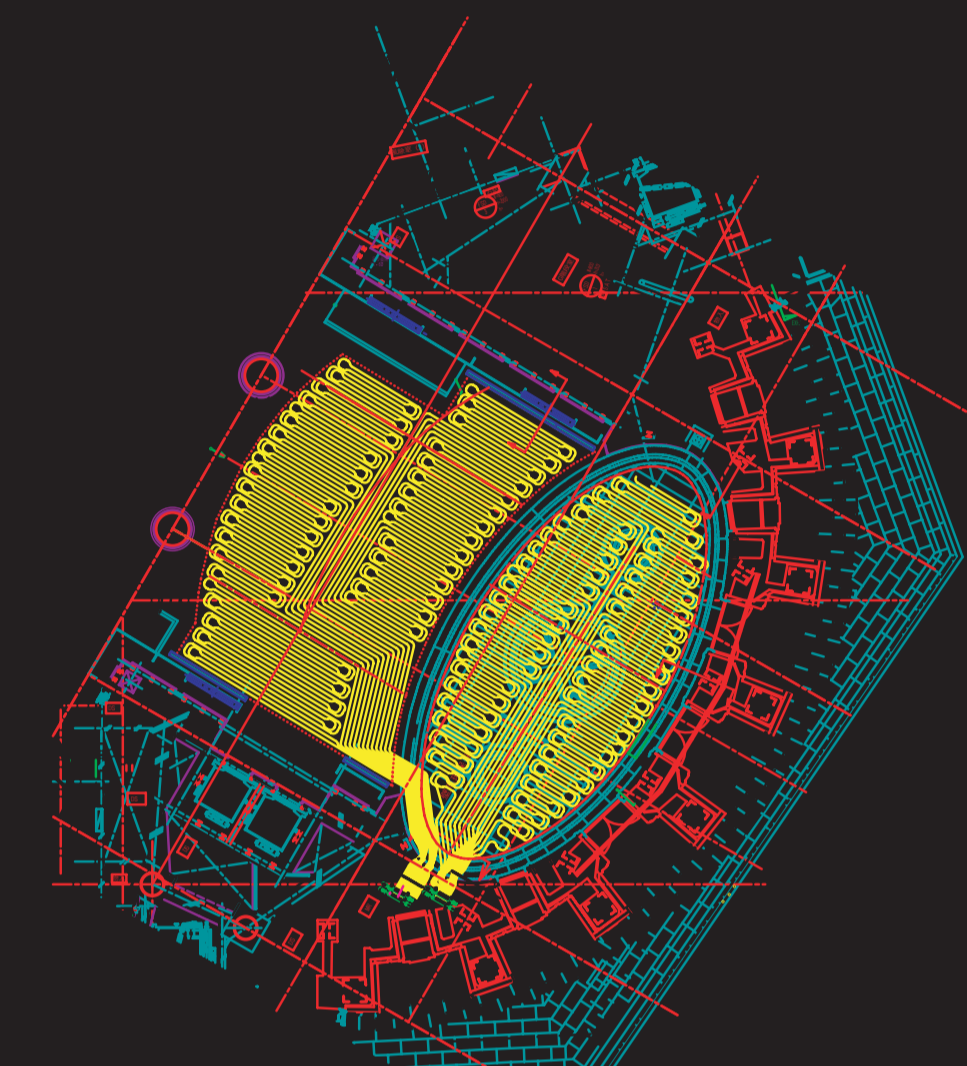
所在地 大阪市中央区北浜1-4-1, 9-1  
 敷地面積 4,720.98m<sup>2</sup>  
 建築面積 3,676.55m<sup>2</sup>  
 延床面積 53,932.1m<sup>2</sup>  
 構造 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造  
 階数 地下2階、地上24階  
 設計 三菱地所設計(意匠・構造)・日建設計(設備)

## 歴史ある空間を快適に再現

証券プラザは、当時の内装を再現保存しています。この3層吹き抜けの大空間に、床放射冷暖房システムを採用、かつても無かった設備要素をいっさい表わさず、当時の空間を忠実に再現するとともに、快適な空間を提供しています。

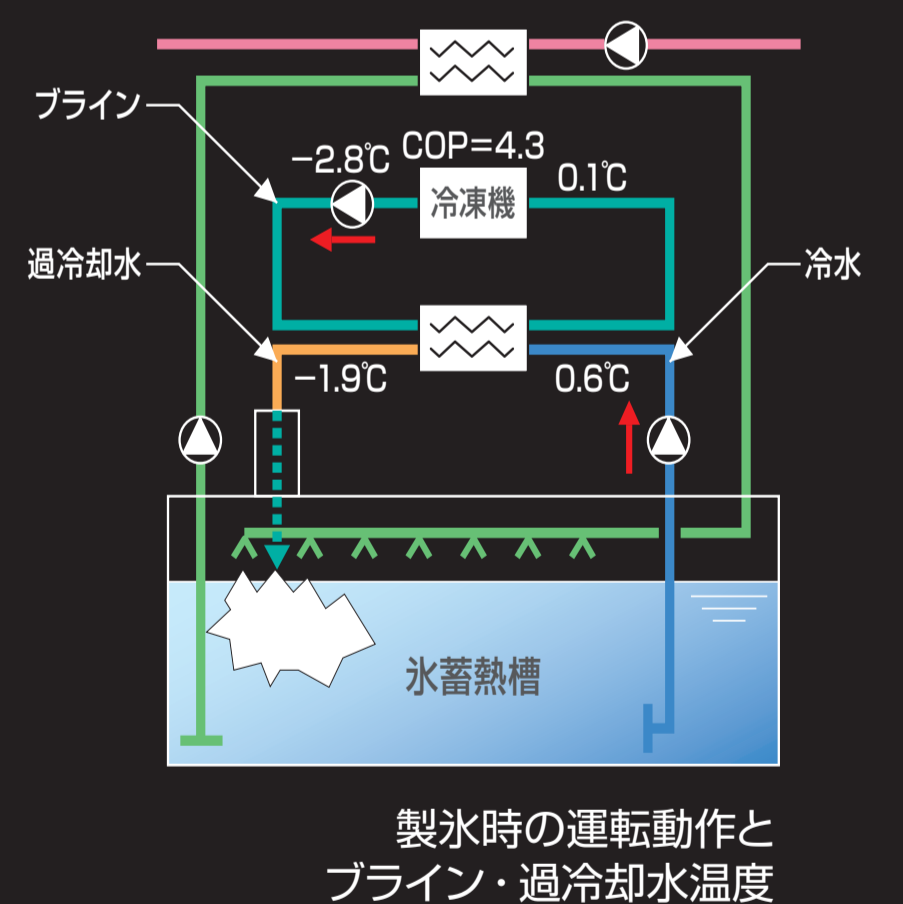
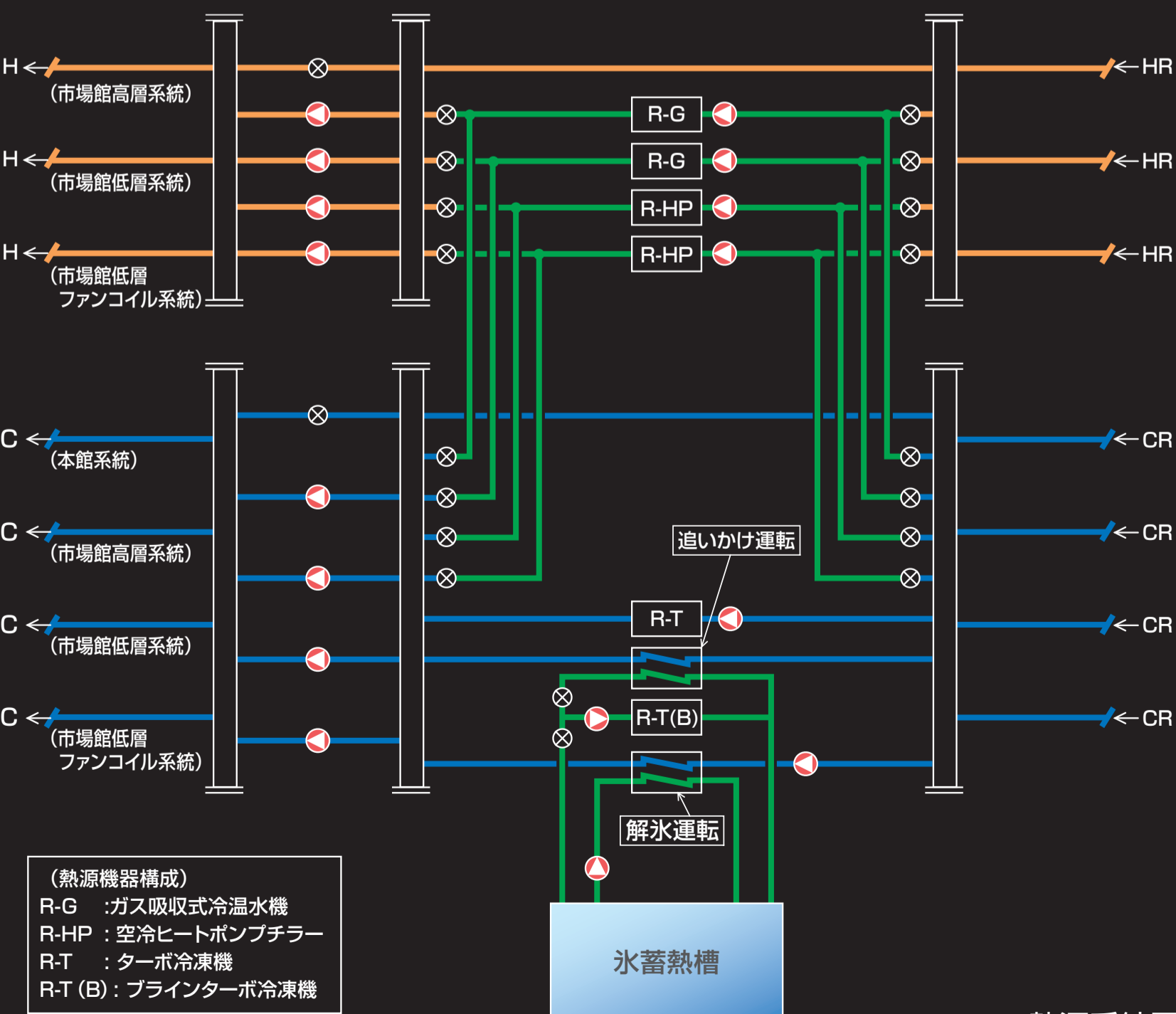


旧大阪証券ビル・エントランス 大阪証券取引所ビル・証券プラザ



## 氷を効率よく作り、素早く溶かす

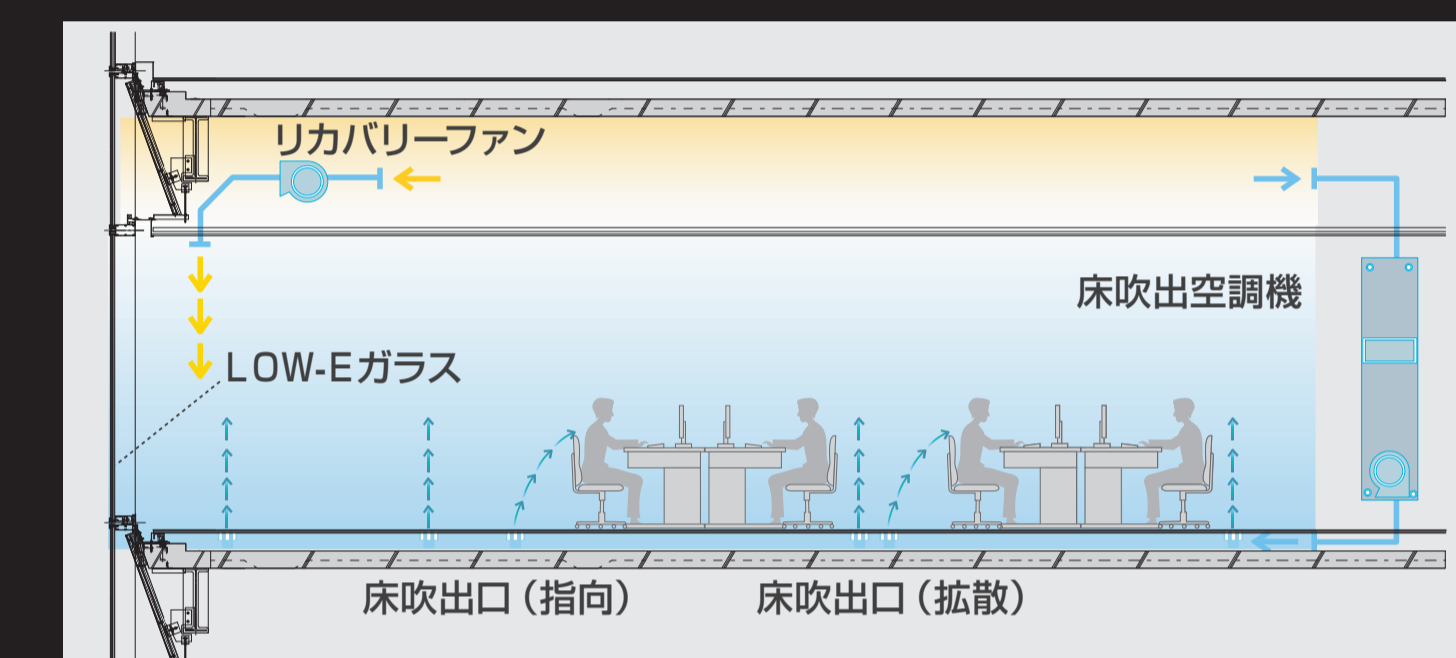
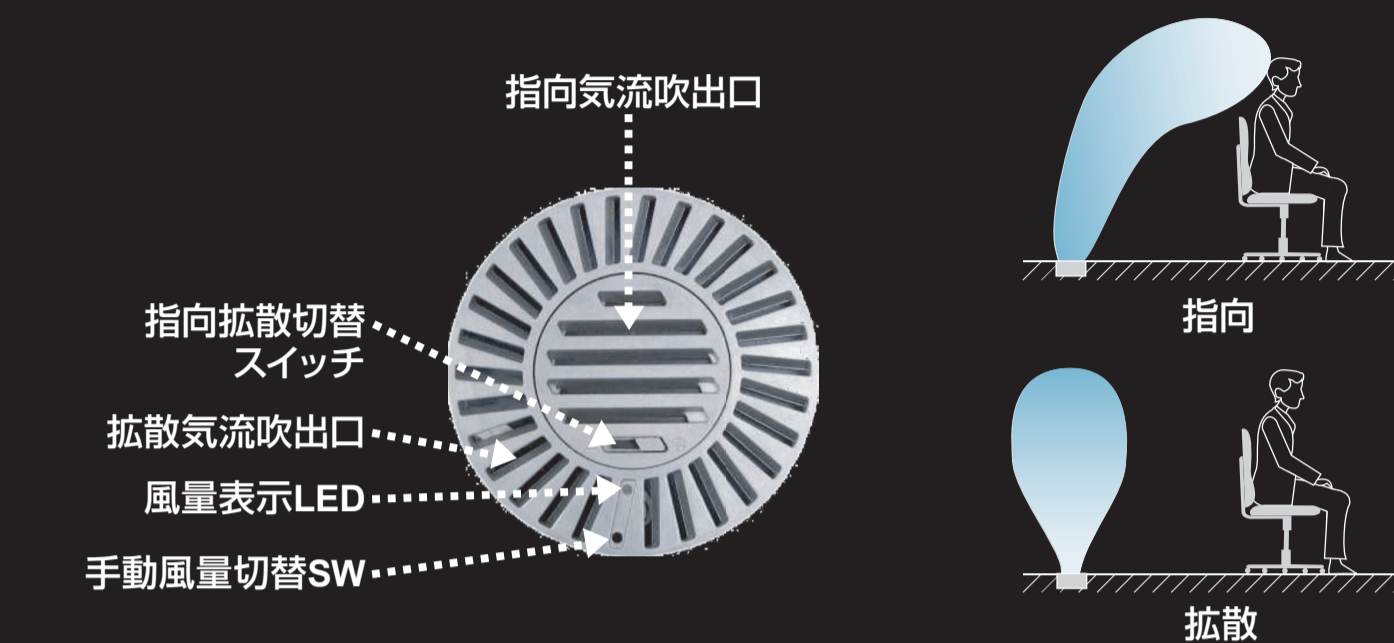
熱源は、竣工時最高効率のガス吸収式冷温水機とターボ冷凍機を採用しました。氷蓄熱は、冷房負荷を効率的に処理するダイナミックアイス型氷蓄熱方式により、製氷時 COP = 4.3 という高い効率で製氷が可能です。生成した氷はシャーベット状のため短時間で溶かすことができます。



高効率ターボ冷凍機

## ファサードデザインと床吹出し空調

オフィス空調は、床吹出し方式を採用しました。従来の高い換気効率やフレキシブル性に加えて、床吹出し口に風向・風量変更機能を付加することで、高いパーソナル性を実現しました。また、インテリア室内発熱をペリメーター暖房に利用するリカバリーファンにより、省エネルギーをローコストで達成しました。



## データ整理ソフトの開発

中央監視盤データを整理するソフト(BA-DSP)を開発しました。指定期間において時間毎、系統毎に容易に集計・平均化することが出来るため、機器の運転改善や、テナントの空調運転の状況把握などさまざまなエネルギー消費動向の把握が可能となります。

